

緊急開催

経営者・経営幹部・法務・広報・人事・総務ご担当者の皆さま向け

企業不祥事が発生したとき 求められる経営判断と初動対応

～最近の重大事案を元に、初動対応・広報対応、その予防策までを解説！～



企業において不祥事が発覚した場合、広報対応を含む初動対応を適切に行うことが肝要です。しかし、現実には、「言うは易し行うは難し」であり、対応を知らなかったが故に「炎上」を招いた結果、社会全体からの信用を失ってしまうことも少なくありません。他社の不祥事が報道された際、想像力を働かせ、「自分が担当者であったなら、どのように対応しただろうか」、「この事件はどのように対応していたら『炎上』を避けられたのか」を具体的に考え、適切な対応が実現できる体制が社内に整備されているか否かを確認することが、リスク管理の観点から極めて重要です。

本セミナーでは、このような問題意識に基づき、広報対応を含む初動対応を中心とした、不祥事が発生した際に最低限知っておかなければならない対処法とその予防策について解説します。具体的には、経営判断に必要な考え方の他、コンプライアンス担当者が知っておくべき平時の備えや、有事の際の全体の流れと対応の要点など、ディスカッションを通じて実践的な理解を深めていただきます。

開催日時

2019年9月27日(金) 10:00～13:00

会場

大阪銀行協会 別館3階 11号室

大阪府大阪市中央区谷町3丁目3-5

最寄り駅:Osaka Metro 谷町線・中央線 谷町四丁目駅

受講料

会員:19,440円 一般:27,000円

受講料は、参加者1名様、テキスト代、消費税を含みます。

講師

ふかみず だいすけ
深水 大輔 氏長島・大野・常松法律事務所／信州大学社会基盤研究所
弁護士／特任准教授

セミナー参加申込書

9/27(金) 企業不祥事が発生したとき 求められる経営判断と初動対応 ④

※個人情報の取り扱いに関して「私は貴社の個人情報に関する利用目的を確認、同意の上、申込みをします」なお、個人情報の取り扱いについての詳細は、弊社ホームページ (<https://www.rri.co.jp/kojin/index.html>) をご覧ください。

【りそな総合研究所 会員・研修事業部(研修担当) 行】

お申込みは、弊社 HP、または、「セミナー参加申込書」へご記入の上 FAXにてお申込みください。

TEL:06-6258-8806 FAX:06-6258-8863

貴社名		区分	MS・会員・一般	会員番号	
受講票送付先	〒	連絡担当者	部署・役職		
TEL	()		氏名	()	
FAX	()	取引店	銀行	支店	
参加者	氏名	()	部署	役職	
	氏名	()	部署	役職	

■講師略歴

2008年長島・大野・常松法律事務所入所。2012年に公認不正検査士資格を取得。2015年には英国 King's College LondonにてEU競争法を学び、その後、Kirkland & Ellis LLPのシカゴオフィスにて、米国独禁法やホワイトカラークライムの分野を中心とした1年間の研修を経て2016年10月帰国。主に、危機管理・企業不祥事対応、コンプライアンス、競争法、金融レギュレーション等を取り扱っている。信州大学特任准教授。

■カリキュラム

※講義中の録音・録画をご遠慮ください。

1. はじめに

- (1) コンプライアンスとは
- (2) 危機管理とは
- (3) リスクマネジメント、ガバナンスとの違いや関係性
- (4) ファイナンスとの関係性

2. 近時の不正・不祥事による重大事案

～ケーススタディ～

- ① 広報対応による企業炎上
 - ② 製造現場におけるデータ改ざん問題
 - ③ 労務コンプライアンス 他
- (1) 「他山の石」として参考にすべき点
 - (2) 自社と類似の問題と自社への活かし方

3. 不祥事対応のプリンシプル

- (1) 第三者委員会などの調査主体を決定する際の考慮要素
- (2) 各調査主体を用いることのメリット・デメリット

4. 不祥事予防のプリンシプル

- (1) リスクベース・アプローチとは
- (2) 企業風土とは何か
- (3) 「風通しの良い企業風土」をどのように実現するのか
- (4) 内部通報制度
- (5) 内部監査の実効性向上

5. 不祥事発生直後の初動対応

- (1) 危機対応の流れ（全体像）
- (2) 初動対応の要点
 - ① 証拠保全
 - ② 情報管理
 - ③ 初期調査
 - ④ 調査態勢整備
 - ⑤ 当局への第一報
 - ⑥ 不正発覚自体の公表等
- (3) 体制整備の重要性とその方法

6. 広報対応

- (1) 記者会見を含む広報対応の要点について
 - ① いつ
 - ② 誰が
 - ③ 何を
 - ④ どのような方法で発信するのか
- (2) 記者会見を行う際の具体的な準備の流れと留意点

7. 架空想定事例の検討

～ディスカッション～

- (1) 実際に不祥事が発生した場合を想定して具体的な対応策についてディスカッションを行う
- (2) 不祥事発生直後に必要な判断力を養う
- (3) 初動対応の重要性を体感する

※開催時の最新情報で解説するため、プログラム内容を変更する場合があります。

■お申込・お支払方法等

1. 表面の「セミナー参加申込書」へご記入の上FAXにてご送信いただくか、弊社HPよりお申込みください。
2. お申込み受付後、「受講票」「会場地図」をお送りいたします。
3. 会員の方の受講料のお支払いは、入会時にご選択いただきました方法になります。
※ 口座振替の場合：口座振替日はセミナー開催月の翌月23日（休日の場合は翌営業日）になります。
※ お振込みの場合：セミナー開催月の翌月10日頃にご請求書をお送りいたします。
4. 一般の方の受講料のお支払いは、お振込みとなります。セミナー開催日前日までにお振込みください。請求書は受講票とともに送りいたします。前日までにお振込みがない場合でも自動的にキャンセルにはなりません。
5. キャンセルの場合、セミナー開催前営業日の17時までにご連絡ください。それ以降のキャンセル及び当日欠席は、受講料を全額いただきますのでご了承ください。また、事前のご連絡が無い限り、自動的にキャンセルにはなりませんのでご注意ください。
6. 諸事情により、開催を中止させていただく場合がございます。